

（1）第10回 第7次NACCS合同作業部会の 結果報告



2022年4月14日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
1	2	蔵入承認（IS）された貨物情報での移入承認（IM）申請の可能化	<p>（要望）（WG後） IS後の貨物管理は現在海上システムのための機能だが、関空の通関業者に確認したところ、免税売店の貨物に関してIS⇒ISW、積戻しがあるため、AIRでもIS後NACCSで貨物管理ができるようにしてほしいとのことでした。</p>	検討いたします。
2			<p>（質問） 出力先の設定は輸入者側にて行うのか。</p>	輸出入者がNACCSへ参加していれば「輸出入者」となるが、不参加の場合、「通関業者」による設定となります。
3	3	納付書情報等出力先の改善	<p>（質問） 代表通関業者以外の通関業者は、どの様に代表通関業者が設定されている事を確認するのか。</p>	<p>U業務の「納付書等出力先登録呼出し(UNF11)」業務で確認可能です。</p> <p>（作業部会後補足） 「納付書等出力先登録呼出し(UNF11)」業務において、「入力された輸出入者コードの代表通関業者Aおよび代表通関業者Bに入力者が設定されていないため、業務を実施できない。」等のエラーが出力される事により、他に代表通関業者が設定されている事の確認が可能となります。</p>
4			<p>（質問） 代表通関業者以外の通関業者には、一括納付書が出ないので申告通関業者側で一括納付書はこの代表通関業者宛へ送付されているのかを確認できる必要がある。また代表通関業者以外の通関業者が多数の件数を扱っている場合、本改善により代表通関業者へいきなり多くの件数が移行する事も考えられるが、今後業者間における事前連絡の体制を意識する必要は無いのか。</p>	実施に当たっては、NACCSセンターと業界などから関係者への事前周知や本設定を要望されている輸入者と通関業者間の密な連携が必要と考えております。

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
5			<p>（質問） 関係書類の返却に関しては、今後代表通関業者では無い場合は一括納付書が出力される代表通関業者へ関係書類を渡すわけにはいかないので、直接、申告通関業者から輸入者様へ一括納付書なしで関係書類を返却することになる。その場合、代表通関業者が出力する一括納付書と別々の通関業者から輸入者様へ渡す形となるという理解でよいか。</p>	ご認識の通りです。
6	3	納付書情報等出力先の改善	<p>（要望） 納付書もNACCSプリンターから印字をして、日本銀行でバーコードスキャンが行えることが条件となっているが、QRコード等に変更しペーパーレスに移行して欲しい。</p>	現在は検討しておりませんが、ご意見を踏まえて、実施可否を含め検討いたします。
7			<p>（質問） 今回、出力される情報としては納付書関連出力表示となっているが、現在出力されている情報と同じ情報が、代表通関業者に対してすべて出力されることから、代表通関業者が別の通関業者の申告分も分かることになるのか。</p>	ご認識の通りです。

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
8	3	納付書情報等出力先の改善	<p>（要望）（WG後） 輸入者の依頼だとしても、弊社と該社との取引状況が競合他社に自動的に開示されてしまうため、弊社法務部から懸念が示されました。現在、法的根拠などを調整中ですが、弊社の同意なしでの自動開示の仕様変更は基本的に反対です。 また、輸入者の視点でも、納付書と通関書類(代表通関業者には送付できないため輸入者へ送付)が別々に送付されることになりこれまで通関業者で行っていた月に数百件の件数の納付書と通関書類の付け合わせ作業が増える可能性があり、変更の目的である「各通関業者からの納付書収集の手間やリスクを回避したい」よりも手間やリスクが増えることが予想される。輸入者にとって利益がある変更なのかを多角的に再検討することを要望します。 さらに、仮に弊社が代表通関業者に指定された場合、他社の数百件の申告分の納付書処理作業が増えることとなり、別途費用を請求せざるを得なく、通関関連業務として料金を徴収できるのかどうかなどの検討が必要と感じる。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、検討いたします。</p>
9			<p>（要望）（WG後） 航空/海上合わせて代表通関業者を指定することとされていますが、夫々指定する仕様の方が良いかと思えます。弊社にて当該機能は利用しておりませんが、将来的に利用する場合は、別の通関業者とするのが現実的か考えたものです。 なお、担当者個別端末からのアクセスが容易になれば、輸出入者としてデータをD/Lすることになるとは思いますので、念のため申し添えます。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、検討いたします。</p>

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
10	4	輸出取止め再輸入申告等情報を管理資料へ追加<2>	意見無し	提案の通り、進めさせていただきます。
11	5	許可・承認貨物（輸出）情報の改善	意見無し	提案の通り、進めさせていただきます。
12	6	「内国貨物運送申告（DCC）」業務等の改善	意見無し	提案の通り、進めさせていただきます。
13	7	「関税割当裏落内容仮登録（TQC）」業務の裏落とし回数上限の引き上げ	（要望） 本提案は非常に助かる機能であり、現行システムでの実現をお願いしたい。	現行システムでの対応は難しいため、第7次NACCSにて実施します。
14	8	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	（質問） 複数官署分を纏めて出力する事はできないか。	一覧照会については、現状でもシステム負荷が高いため、一度に全官署の全申告データから該当利用者コードを絞り込むと、更なる処理負荷がかかりタイムアウト等の影響も考えられます。また、処理負荷が増えることにより一覧照会における利用料金への影響も考えられるため、安定的にシステム提供できるよう、申告官署毎に出力する仕様としており、ご理解いただきたい。
15	9	「貨物在庫状況照会（IWS）」業務の改善	意見無し	提案の通り、進めさせていただきます。

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
16	10	「貨物情報照会（ICG）」業務の改善	（質問） レイアウト変更により文字サイズが縮小する事にならないか。	文字のサイズに変更はない予定です。
17			（要望） 本改善は、ペーパーレスに繋がる事から実施していただきたい。	承知しました。
18			（要望） コンテナナンバーのサイズとタイプについて同様に出力を検討頂ければ有難い。	利便性の観点から項目追加の検討はしていきたいと考えているが、出力項目を増やす事で文字が小さくなる等のデメリット面もあることから、関係団体様内で議論頂き、ご意見いただきたい。
19			（要望）（WG後） 先般の「第10回「第7次NACCS合同作業部会」において、ICG業務の出力情報について、コンテナナンバーとそのサイズ・タイプを出力データ項目として追加することの検討をご依頼しました。ただし、印刷出力の視認性向上という利便性が制約されることは承知いたしました。 できれば印刷出力はご提案のとおりコンテナ4本までを1ページに収めるレイアウト変更とし、「ICG照会画面表示」にはサイズ・タイプデータ項目を出力する。または、社内システムとのデータ連携の利便性を改善するため「貨物情報照会情報（全体情報）SAL026」のファイルのみ項目を追加することをご検討いただければと思います。	画面レイアウト上、コンテナサイズ、タイプを表示するスペースがないことから対応は難しい状況です。また、画面表示、帳票表示に使用しないにも関わらず、電文上のみ項目追加する対応は、他の利用者様への影響も考えられることから、コンテナサイズ、タイプの確認は、引き続き「コンテナ情報照会（ICN）」業務をご利用いただきたい。

1. 第10回 第7次NACCS更改専門部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
20	11	「輸入便情報照会（HAWB）（IMF12）」業務の改善	意見無し	提案の通り、進めさせていただきます。
21	12	「保税蔵置場在庫状況照会（輸出）（IWH）」業務の改善＜2＞	（意見）（WG後） 仕立済と仕立未を抽出条件として追加されることにはメリットがあると思われる。 併せて、MAWB項目の追加により、未仕立ての発見が容易になり良い。	ご意見ありがとうございます。 提案の通り、進めさせていただきます。

4. WGへの検討課題提案状況

別紙_WGへの検討課題提案状況を参照

5. サブワーキングの開催状況

別紙_サブワーキングの開催状況を参照